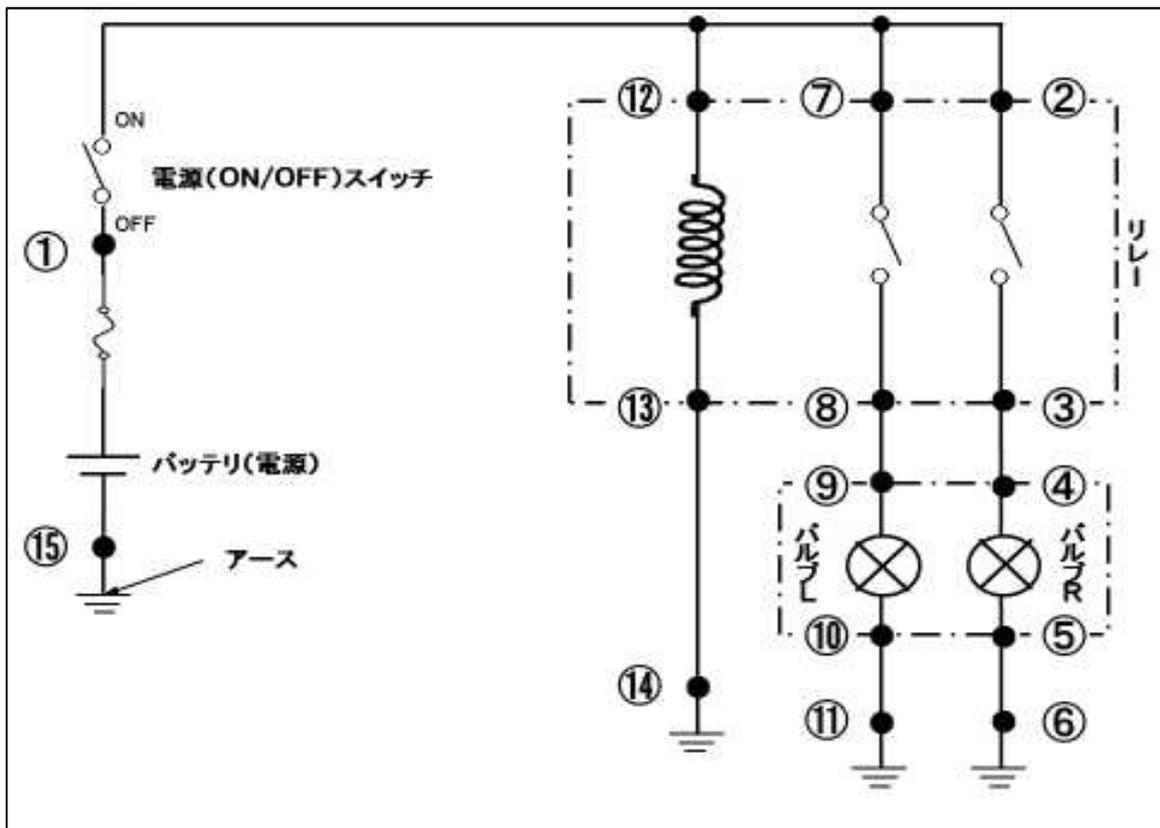


留意事項 [問題 1]

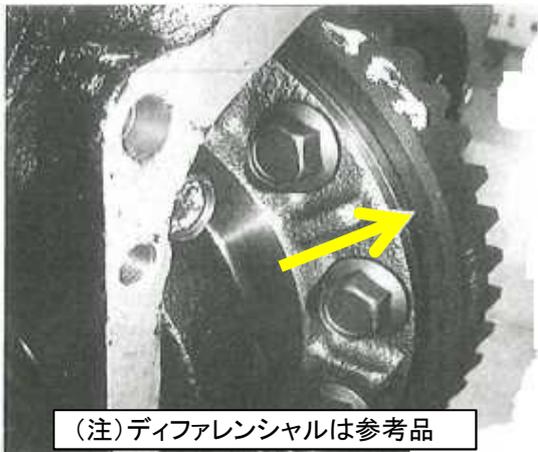
1. 電源のON/OFFスイッチは、受験者自身で操作すること。
2. リレー回路の回路図は以下のとおりである。
(図)



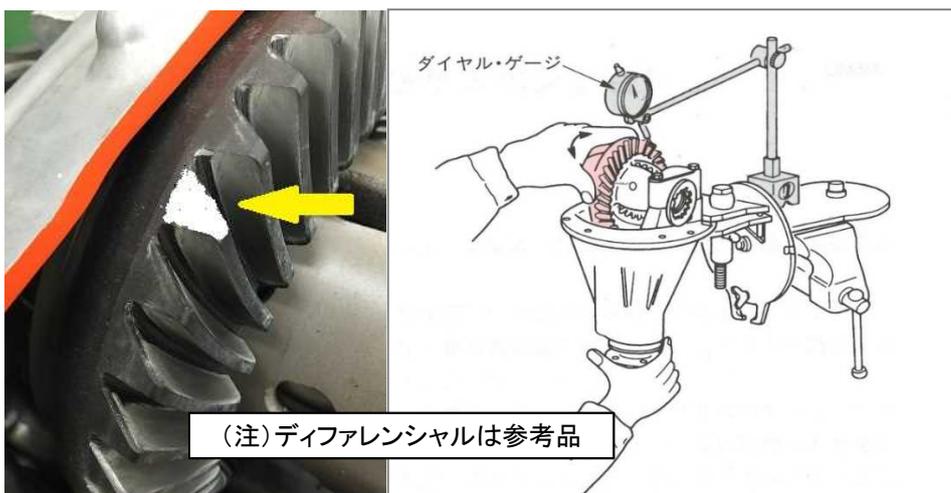
3. 台上のリレー回路の測定端子番号と、回路図内及び問題文中の番号は同一である。
4. 電圧の測定は、リレー回路番号の「15」を基準とすること。
5. サーキット・テスタによる測定は、電圧の測定のみで行い、抵抗及び導通の測定は絶対行わないこと。

留意事項 [問題 2]

1. リング・ギヤの振れの測定箇所は、リング・ギヤ背面とする。(矢印参照)



2. リング・ギヤの振れの限度値は、 mmである。
3. バックラッシュの測定箇所は、図Aに示すリング・ギヤ円周上の白ペンキ塗布部（3ヶ所に塗布、矢印参照）とし、バックラッシュの測定は図Bのように行うこと。



(図A)

(図B)

4. ドライブ・ピニオンとリング・ギヤのバックラッシュの基準値は、次の通りである。

基準値	0.10mm ~ 0.15mm
-----	-----------------

留意事項 [問題3]

1. この自動車は、前輪をターニング・ラジラス・ゲージの上に正しくのせて、水平状態にしてブレーキをかけて安定した状態にしてあります。
2. ホイール・ナットは規定トルクで締め付けてあります。
3. ホイールに損傷はなく、タイヤの空気圧が規定値にあります。
4. 必要に応じて、ハンドル操作を採点員に依頼することができます。
5. 左前輪のキャンバ、キャスト及びキングピン傾角は既に測定しており、測定値は次のとおりです。

測定項目（左前輪）	測定結果	
キャンバ	度	分
キャスト	度	分
キング・ピン傾角	度	分

6. この自動車のキャンバ、キャスト及びキングピン傾角の基準値は、次のとおりです。

測定項目（前輪）	基準値	
キャンバ	度	分 ±45分、かつ、左右差限度30分未満
キャスト	度	分 ±45分、かつ、左右差限度30分未満
キング・ピン傾角	度	分 ±45分、かつ、左右差限度30分未満

7. 自動車に装着している測定器具用アダプタは、正しく装着されています。